

**【島を訪れる、島に帰る】43**

①予算事業名	国際海洋資源・エネルギー利活用推進事業	予算科目	2-1-10-24	基本構想上の位置づけ 上段：「島づくり目標」 下段：「施策の柱」	交流人口・移住定住人口の増大 観光の振興
②担当部課名	プロジェクト推進課	事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所	施策の柱43-2

③事業内容  
・海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、平成26年7月21日に「国際海洋資源・エネルギー利活用推進コンソーシアム」が設立された。本コンソーシアムが主体となって、取水量10万トン敷設と国際海洋資源・エネルギー研究センター建設に向けた事業化に取り組む。本事業では、エネルギー・水・食料を自給自足できる島、「久米島モデル」を熱帯・亜熱帯地域のモデルとして確立することで、産業分野への観光資源(視察見学、研究生受入等)として拡充を図る。

④実施方法  
 直接実施     委託     補助     負担     その他 ( )

		28年度	29年度	30年度	31年度(予定)	32年度(予定)
⑤事業費 【単位:円】	(a) 国庫					
	(b) 県費					
	(c) 地方債等					
	(d) 一般財源	9,794,000	6,091,000	5,739,000	6,100,000	5,800,000
	計(a~d)	9,794,000	6,091,000	5,739,000	6,100,000	5,800,000
特定財源名		(a) または (b) の名称			(c) の名称	

年度	実施する具体的な事業の内容
平成30年度	海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、取水量10万トン敷設に向けた事業化に取り組む。(国、県への働きかけ、事業申請等)
平成31年度(予定)	海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、取水量10万トン敷設に向けた基礎調査(深淺測量・環境生物調査等)を行う。
平成32年度(予定)	海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、取水量10万トン敷設に向けた基礎調査(磁気探査・土質調査等)を行う。

⑦成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値(37年度)
			OTEC施設視察者数	目標 ( )	( 1,600 )	( - )	( - )
	実績	1,315	-	-	-		
	目標	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
	実績		-	-	-		

事業成果等  
OTEC施設への視察者や研究生受入を行うことで、産業分野への観光資源として活用していく。  
※OTEC施設視察者実績  
H25 1,578人、H26 1,642人、H27 1,672人、H28 1,849人

